

一般社団法人日本疫学会 第6回定時社員総会 議事録

日時	2022(令和4)年 1月 27日 (木) 18:00-19:00
場所	Zoom webinar 於 第32回日本疫学会学術総会
社員総数	209名
出席社員数	180名(内 委任状提出者:77名)
出席理事	(順不同、敬称略) 祖父江友孝(議長)、玉腰暁子、三浦克之、栗山進一、曾根博仁、井上茂、井上真奈美、尾島俊之、若井建志、本庄かおり、安田誠史、郡山千早、上原里程、片野田耕太、神田秀幸、関根道和、松尾恵太郎
出席監事	西信雄、横山徹爾

祖父江友孝議長より、代議員 209 名のうち、出席代議員 103 名、委任状提出代議員 77 名で、過半数に達しており本社員総会が成立したことが報告された。また、議事録署名人として、井上茂先生と片野田耕太先生が承認された。

1. 2021 年度事業について、祖父江議長より、下記の報告があった。

- 1) 学術総会の開催に関する事業 (定款第 2 条 1 項)
 - 第 31 回日本疫学会学術総会の開催 2021 年 1 月 27 日 ~ 29 日 オンライン開催 (田中 恵太郎 学会長) 1,045 名参加 (第 28 回 JEA 疫学セミナー413 名参加)
- 2) 会誌、研究文書等の企画、制作、編集、刊行に関する事業 (定款第 2 条 2 項)
 - 会誌 Journal of Epidemiology(JE) Vol.30(12), Vol.31 (1-11) の刊行 (冊子は合本で 6 冊発行)
 - アクセプト版早期公開の定常化
 - プロモーション号を制作し、JE に投稿の可能性がある海外の研究者に送付
 - 疫学事典の企画、編集
- 3) 調査、研究、情報の収集及び提供に関する事業 (定款第 2 条 3 項)
 - ニュースレター 第 57 号 (4/15)、第 58 号 (10/15) の刊行
 - ホームページ (日・英)、メールマガジンによる情報提供
 - メディア連携、疫学リテラシー普及促進についての検討、声明、調査・報告、要望書の発出
 - 疫学リソース利用促進についての諸課題の検討
 - 疫学研究推進グループの設置 (放射線疫学推進グループ、出生コホートネットワーク)
- 4) 人材の教育、研修に関する事業 (定款第 2 条 4 項)
 - プレセミナー2021 を第 31 回学術総会時に開催 (1/27、延べ 913 名参加)
 - サマーセミナー2021 オンライン開催 (8/22、約 90 名参加)

- 5) 国内外の国、公的機関、学術団体等との連絡、協力、支援、調整、連携及び交流に関する事業（定款第2条5項）
- 疫学の未来を語る若手の会（世話人代表からの報告）
 - WCE (World Congress of Epidemiology) Travel Award の募集、日本疫学会若手会員7名、IEA Western Pacific region のIEA 会員18名に参加費等のアワード授与
 - Korea-Japan Joint Epidemiology Seminar@韓国（オンライン開催）の共同企画・参加
 - 他学会との共催セミナー・シンポジウムの開催
 - ◆日本計量生物学会との共催でプレセミナー開催（1/27、第31回学術総会時）
 - ◆日本産業衛生学会との共催で連携シンポジウム開催（5/19）
 - 新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所支援（積極的疫学調査）協力者の名簿作成に協力
 - 日本医学会、日本医学会連合との連携
 - 関連団体（禁煙推進学術ネットワーク、日本人類遺伝学会、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会、社会医学系専門医協会等）との連携
- 6) 資格の認定に関する事業（定款第2条6項）
- 疫学専門家認定制度
 - ◆2020年申請の上級疫学専門家の書類審査、合格発表（3/4）、認定（4/1）
 - ◆2021年疫学専門家・上級疫学専門家の申請受付（8/2-9/24）、書類審査（9/27-）、筆記試験準備
 - 社会医学系専門医協会の更新単位付与に係る研修実施（第31回学術総会時）
- 7) 表彰に関する事業（定款第2条7項）
- 日本疫学会功労賞受賞者（敬称略）
田中 恵太郎（佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野）
 - 日本疫学会奨励賞受賞者（五十音順、敬称略）
伊藤 ゆり（大阪医科薬科大学 研究支援センター 医療統計室）
久松 隆史（岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 公衆衛生学分野）
 - 優秀査読者（五十音順、敬称略）
中谷 直樹（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構）
大庭 真梨（国立精神・神経医療研究センター）
大谷 隆浩（名古屋市立大学院 医学研究科）
 - Paper of the Year（敬称略）
井上 陽介（国立国際医療研究センター）
- 8) その他の関連する事業（定款第2条8項）
- 多様性（ダイバーシティ）促進のための取り組みについての検討
- 9) その他
- 代議員・選出理事・監事・理事長選挙の実施
 - 役員などのCOI自己申告書の収集・管理
 - 各種規程の整備
 - 名誉会員の推薦
 - 会議等に関する事項
 - 第5回定時社員総会（第31回学術総会時オンライン開催、1/28）
 - 第1回理事会（オンライン開催、1/27）

第2回理事会（オンライン開催、5/24）

第3回理事会（オンライン開催、11/5）

2. 2021年度決算案について、北村哲久事務局長より、貸借対照表および正味財産増減計算書に基づき、下記の説明があった。

2021年度末における資産合計は、69,357,218円、負債合計は、2,837,581円である。また、指定正味財産と一般正味財産を合わせた正味財産合計は66,519,637円で、負債及び正味財産合計は、69,357,218円である。

次の「正味財産増減計算書」では、一般正味財産増減の部における経常増減の部について、当年度の2021年度（2020年12月1日～2021年11月30日）の経常収益は、受取会費21,572,848円、事業収益25,703,218円、受取補助金等4,482,269円等があり、経常収益計51,759,551円である。一方、経常費用は、事業費28,024,420円、委員会活動1,131,195円、学会事務局12,608,109円等があり、経常費用計44,305,787円で、当期経常増減額は7,453,764円であった。経常外増減の部について、一般正味財産期末残高は、64,880,217円であった。さらに、指定正味財産増減の部において、日本学術振興会からの受取補助金等4,000,011円と一般正味財産への振替額マイナス4,482,269円により、指定正味財産期末残高は1,639,420円となり、正味財産期末残高は、66,519,637円で、先ほどの貸借(たいしゃく)対照表の正味財産合計と一致する。

3. 2021年度事業報告、理事の職務の遂行、計算書およびその付属明細書について、横山徹爾監事より監査報告があり、2021年度決算書は、承認された。

4. 2022年度事業計画について、祖父江議長より下記の説明があり、理事会で承認されている旨の報告があった。

- 1) 学術総会の開催に関する事業（定款第2条1項）

- 第32回日本疫学会学術総会の開催（1/26～1/28、会長：近藤克則）
- 第29回JEA疫学セミナー（1/26）プレセミナー（1/26）ほか関連行事開催

- 2) 会誌、研究文書等の企画、制作、編集、刊行に関する事業（定款第2条2項）

- 会誌Journal of Epidemiology Vol.31(12)、Vol.32(1-11)の刊行（冊子6冊発行）、Supplementの発行、ACCEPT版早期公開の定常化等
- 「疫学の事典」発行

- 3) 調査、研究、情報の収集及び提供に関する事業（定款第2条3項）

- ニュースレター 第59号（4/15）、第60号（10/15）の刊行
- ホームページ（日・英）、メールマガジンによる情報提供
- メディア連携、疫学リテラシー普及促進についての検討
- 疫学リソース利用促進についての諸課題の検討

- 4) 人材の教育、研修に関する事業（定款第2条4項）

- プレセミナー2022を第32回学術総会時に開催
- 第11回疫学サマーセミナーの開催

- 5) 国内外の国、公的機関、学術団体等との連絡、協力、支援、調整、連携及び交流に関する事業（定款第2条5項）

- 疫学の未来を語る若手の会：第 27 回若手の集い
 - 第 33 回学術総会トラベルグラントの募集・選考
 - 他学会との共催セミナー・シンポジウムの開催、関連団体との連携
- 6) 資格の認定に関する事業（定款第 2 条 6 項）
- 2021 年上級疫学専門家・疫学専門家の認定（疫学専門家筆記試験および認定延期）
2022 年上級疫学専門家・疫学専門家申請の受付、審査
 - 社会医学系専門医協会の更新単位付与に係る研修実施
- 7) 表彰に関する事業（定款第 2 条 7 項）
- 日本疫学会功労賞、日本疫学会奨励賞、優秀査読者、Paper of the Year の選考
- 8) その他の関連する事業（定款第 2 条 8 項）
- 多様性（ダイバーシティー）促進についての検討
- 9) 役員などの COI 自己申告書の収集・管理
- 10) 各種規程の整備
- 11) 名誉会員の推薦
- 12) 社員総会、理事会の開催
5. 2022 年度予算書について、北村哲久事務局長より、下記の説明があり、理事会で承認されている旨の報告があった。
- 事業活動収入については、会費支払い義務のある普通会员 2,050 人、代議員 205 人として、会費収入 2,106 万円が見込まれ、事業収入として、会誌発行収入 1,106 万円、疫学専門家の申請・登録料 90 万円、学術総会 1,813 万円を見込んでいる。日本学術振興会からの補助金等を合わせて、事業活動収入計を 56,859,000 円として計上する。一方、事業活動支出については、事業費支出として、会誌発行費 458 万円、JE 編集委員会費 1,343 万円、総会補助費 150 万円、疫学の未来を語る若手の会 10 万円、学術総会 1,976 万円、疫学専門家認定の費用として 113 万円、セミナー実施費 30 万円を計上した。また賛助会費では、日本医学会年会費 15 万円、禁煙推進学術ネットワーク連絡協議会に 10 万円、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会に 2 万円をあわせて 27 万円を計上した。さらに委員会活動では、英語版ウェブサイトの充実のための英訳の費用等の国際化推進費として 20 万円、ニュースレター作成費 20 万円、奨励賞・功労賞 7 万円、委員会開催費等 10 万円を含み、59 万円を計上している。理事会については、会議費 5 万円、交通費 15 万円を計上した。学会事務局では、法定福利費 153 万円、人件費 806 万円、業務委託費 63 万円、会計監査費 40 万円をあわせて 1,062 万円を計上し、その他、消費税 70 万円を含む管理費 275 万円、会員管理システムバージョンアップにともなう選挙システム移行費用 5 万円、都民税 7 万円を計上し、事業活動支出計 55,361,000 円が見込まれ、事業活動収支差額は 1,497,013 円となる。
6. 新名誉会員について、祖父江議長より、理事会において推薦された新名誉会員候補者が紹介され、下記のとおり承認された。（敬称略）
- 秋葉 澄伯
森 満
7. 新理事・監事（任期：2024 年に開催の社員総会まで）について、祖父江議長より、昨

年実施された選挙で選出された理事・監事候補および理事長指名理事候補が紹介され、下記のとおり承認された。（順不同、敬称略）

◆選出理事

玉腰 暁子	北海道大学大学院 医学研究院 社会医学分野 公衆衛生学教室
栗山 進一	東北大学 災害科学国際研究所 災害公衆衛生学分野
小橋 元	獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座
曾根 博仁	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科
井上 茂	東京医科大学 公衆衛生学分野
井上 真奈美	国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部
岡村 智教	慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学
尾島 俊之	浜松医科大学 健康社会医学講座
若井 建志	名古屋大学大学院 医学系研究科 予防医学分野
近藤 尚己	京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 社会疫学分野
本庄 かおり	大阪医科薬科大学 医学部 社会・行動科学教室
三浦 克之	滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター
神田 秀幸	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 公衆衛生学分野
金子 聡	長崎大学 熱帯医学研究所 生態疫学分野
有馬 久富	福岡大学 医学部 衛生・公衆衛生学

◆指名理事

片野田 耕太	国立がん研究センター がん対策研究所 予防検診政策研究部
郡山 千早	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 疫学・予防医学
関根 道和	富山大学 学術研究部 疫学健康政策学講座
福島 若葉	大阪市立大学大学院 医学研究科 公衆衛生学
村上 義孝	東邦大学 医学部 社会医学講座 医療統計学分野

◆監事

横山 徹爾	国立保健医療科学院 生涯健康研究部
和田 恵子	岐阜大学大学院 医学系研究科 疫学・予防医学

8. その他の役員人事について、祖父江理事長より、下記のとおり報告があった。（敬称略）

- 第34回日本疫学会学術総会会長：三浦 克之（滋賀医科大学）
- 新役員体制（任期：2024年に開催の社員総会まで）
 - ◆理事長：玉腰暁子
 - ◆副理事長：井上真奈美、関根道和
- 各委員会委員長、WG長（任期：2024年に開催の社員総会まで）
 - ◆疫学リソース利用促進委員会（委員長：岡村智教、リンケージ基盤推進WG長：若井建志、既存疫学研究データ資源化・共有・活用WG長：神田秀幸）
 - ◆倫理問題検討委員会（新設）（委員長：栗山進一）
 - ◆学会等連携推進委員会（委員長：曾根博仁、禁煙推進学術ネットワーク連絡WG長：片野田耕太）
 - ◆多様性（ダイバーシティ）促進委員会（委員長：村上義孝）
 - ◆広報委員会（委員長：金子聡、副委員長：福島若葉、疫学リテラシー普及促進WG長：福島若葉、メディア連携WG長：近藤尚己）

- ◆JE 編集委員会（委員長：片野田耕太、副委員長：近藤尚己、浦山ケビン
※任期：別に定める）
- ◆国際化推進委員会（委員長：郡山千早）
- ◆疫学専門家委員会（改名）（委員長：尾島俊之、認定試験 WG（改名）長：井上
茂、資格審査 WG 長：小橋元、資格審査副 WG 長：中田由夫、朝倉敬子）
- ◆学術委員会（新設）（委員長：三浦克之、副委員長：本庄かおり、疫学教育推
進 WG 長：本庄かおり、疫学研究推進 WG（新設）長：三浦克之）
- ◆COI 委員会（委員長：有馬久富、副委員長：郡山千早）
- ◆選挙規定検討委員会（委員長：有馬久富、副委員長：郡山千早）
- ◆総務委員会（委員長：菊池宏幸（兼 事務局長））
- ◆財務担当理事（関根道和、（副）井上真奈美）
- ◆選挙管理委員会（委員長：福田吉治 ※任期：2023 年に開催の社員総会まで）

9. 庶務事項について、北村事務局長より、下記のとおり報告がなされた。
- 1) 会員数(2022 年 1 月 1 日現在)：名誉会員：31 名、代議員：209 名、普通会员：2,290 名（合計：2,530 名） ※普通会员のうち、2021 年度入会学生会員：94 名
※1 年間で、会員数 50 名増加
 - 2) 年会費納入状況(2022 年 1 月 10 日現在)：2021 年度会費の納入義務のある会員
2,396 名、2021 年度までの会費納入完了者 2,116 名(88%)、2 年以上の滞納者 146 名
 - 3) 疫学会通信(2022 年 1 月 1 日現在)：登録者数 2,507 名(99%)、2021 年発行回数：69 回
10. 第 33 回学術総会会長の尾島俊之会長より、挨拶があった。
11. 祖父江理事長より、退任の挨拶があった。
12. 新理事長の玉腰暁子理事より就任挨拶があり、閉会となった。

以上